

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業 (継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額		158,478		(単位：千円)			
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金	87,162	事業期間	平成7年度～平成40年度	全体事業費	1,813,178
		地方債	65,400	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
		一般財源	5,916	施策の内容	6 橋梁震災対策の推進		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、安全な道路交通を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

耐震化予定の橋梁34橋のうち、17橋について落橋防止等を施工しました。また、平成23年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した橋梁243橋のうち橋長15m以上の79橋については、計画に基づき14橋の修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】

国道六号9号橋（板谷第一跨道橋）耐震補強設計委託	5,000千円
東真鍋1号橋（木田余立体橋）外1橋耐震補強工事	64,000千円
国道六号9号橋外3橋詳細設計委託，国道六号8号橋外2橋修繕工事	55,350千円
常磐線3号橋（二番橋）外1橋架替工事に伴う概略・詳細設計委託	34,128千円



常磐線3号橋（二番橋）現況

【今後の予定】

平成40年度までに、34橋の耐震化工事及び79橋の修繕工事を予定しています。

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

※平成31年度末進捗率（予定）：橋梁耐震対策事業 55.8%（19/34橋），橋梁長寿命化修繕事業 22.7%（18/79橋）

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路新設改良事業 (継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額		400,000				(単位：千円)	
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金	50,000	事業期間	平成31年度	全体事業費	400,000
		地方債	300,000	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	50,000	施策の内容	3 生活道路の整備及び管理		

事業の目的

幹線道路（Ⅰ級幹線，Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事，歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅工事，舗装工事，交通安全施設工事等を計画的に進めることにより，道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（平成30年4月1日現在） L = 1,524,376m（6,939路線）
うち改良済延長 L = 725,721m（改良率47.61%）

【今年度事業内容】 (単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	29路線 L = 2,825m	299,200
測量設計委託料	15路線 L = 4,160m	49,500
公有財産購入費	20路線	19,100
物件移転補償費	16路線	22,480
役務費	鑑定料，登記料	7,700
事務費等		2,020
計		400,000

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。



市道桜町四丁目6号線 整備状況

期待される効果・成果目標等

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに，歩行者と自転車の安全を確保し，交通事故防止に寄与します。また，緊急車両等の通行を可能にし，市民の安全を守ります。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業 (継続)

担当	建設部 下水道課
----	-------------

予算額		79,960				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	36,665	事業期間	平成31年度	全体事業費	79,960
		地方債	36,300	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり		
	一般財源		6,995	施策の内容	2 都市下水路の整備		

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】 平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。

- 【今年度事業内容】
- ・西根竹の入都市下水路整備工事 L=50m
 - ※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。
 - ・荒川沖都市下水路整備工事 L=50m

【今後の予定】 西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】 平成29年度から、田中三丁目地内小規模排水路整備工事を実施しています。

- 【今年度事業内容】
- ・田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L=50m
 - ・小松一丁目地内小規模排水路整備工事 L=50m

【今後の予定】 今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

地域公共交通確保維持改善事業 (継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		4,792	(単位：千円)
財源内訳	特定財源		
	国県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,792	
		事業期間	平成31年度
		全体事業費	4,792
		施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		施策名	4 人と環境にやさしい公共交通体系の構築
		施策の内容	1 公共交通網の形成

事業の目的

地域公共交通網形成計画に基づき、まちづくりと連携した、各公共交通が相互に補完し合うネットワークの構築を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年3月 土浦市地域公共交通網形成計画策定

平成29年4月～ 地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施（公共交通マップ、マイ時刻表サービス、隣接市町の協議会参加）□

【今年度事業内容】

協議会負担金（協議会運営費，広報・PR事業費）	971千円
バス運行対策費負担金	2,186千円
霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金	812千円
千代田神立ライン運行補助金	823千円

【今後の予定】

地域公共交通網形成計画に基づく施策を継続して実施します。



土浦市地域公共交通活性化協議会 つちうら公共交通マップ

期待される効果・成果目標等

各公共交通の機能分担と連携強化を図るとともに、公共交通環境の整備による利用促進や、既存の公共交通の確保維持を図るなど、地域公共交通網形成計画に基づく施策を推進することで、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通網の実現に寄与します。

亀城モール整備事業

(継続)

担当 都市産業部
都市計画課

予算額

366,527

(単位：千円)

財源内訳	特定財源	国県支出金	171,716	事業期間	平成26年度～平成31年度	全体事業費	955,897
		地方債	172,200	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源		22,611	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図ります。

事業の概要

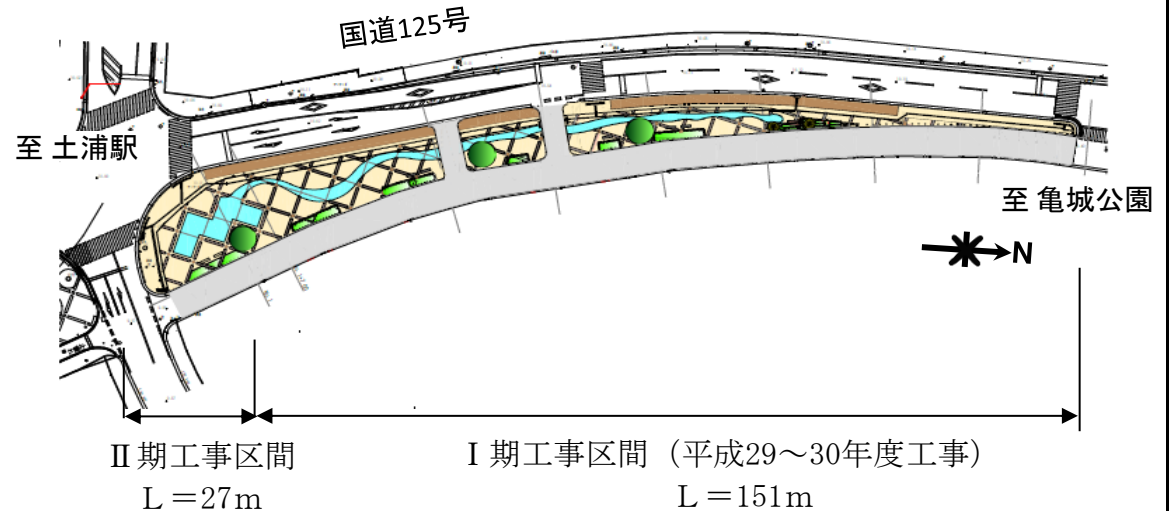
【これまでの経緯】

平成26年度 補償調査の実施，用地補償
平成27～30年度 用地補償，Ⅰ期整備工事

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
用地補償	337,029
Ⅱ期整備工事等	26,781
鑑定料等	2,296
委託料等	421
計	366,527



期待される効果・成果目標等

歩行者等の安全性が高まるとともに、市民や来訪者にとって潤いのある憩いの空間が形成されます。また、イベント等での活用を図ることにより、賑わいを創出するとともに、中心市街地の更なる魅力向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

神立駅西口地区土地区画整理事業 (継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		480,120				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	74,250	事業期間	平成24年度～平成33年度	全体事業費	8,611,020
		地方債	336,300	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備		
		一般財源	69,570	施策の内容	1 神立駅周辺地区の整備		

事業の目的

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年度 区画整理 第1工区着工，新駅舎・自由通路一部供用開始
 平成30年度 区画整理 第2工区着工，新駅舎・自由通路 完成

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
土地区画整理事業負担金	283,020
東口歩行者専用道路整備費 (L=210m, 歩道, 自転車道, L型擁壁, 街路灯 等)	165,000
事務費・派遣職員人件費	32,100
計	480,120



神立橋上駅舎イメージ図

【今後の予定】

平成32～33年度 造成工事，駅前広場工事 平成34年3月 換地処分 事業完了

期待される効果・成果目標等

駅前広場，都市計画道路，橋上駅舎や自由通路等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

常名虫掛線街路事業

(継続)

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		137,153				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	78,060	事業期間	平成22年度～平成31年度	全体事業費	3,186,584
		地方債	53,000	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源		6,093	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

中心市街地と並木地区を結ぶ交通ネットワーク構築による周辺地域の活性化や、暮らしやすさの向上及び運動公園アクセスの向上並びに周辺自治体との観光ネットワーク強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度末に、全延長1,435mのうち545mの供用を開始しました。
平成30年度は、道路改良工事、道路修正設計、用地買収、地質調査を実施しました。

【今年度事業内容】

平成31年度は、用地買収、道路舗装工事や交差点改良舗装工事等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良舗装工事等	128,700
補償補填及び賠償金	物件補償	5,000
公有財産購入費	用地買収	1,200
委託料	修正設計等	495
役務費等	不動産鑑定、道路照明電気料	1,758
計		137,153

【今後の予定】

平成31年度末の供用開始（暫定整備）を目指します。



常名虫掛線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

新たな南北軸としての交通ネットワークが構築されることとなり、新治地区から市街地への観光客の誘導、また、周辺自治体との観光交流の促進につながります。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

神立停車場線街路事業 (継続)

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		133,603				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	35,775	事業期間	平成23年度～平成32年度	全体事業費	829,400
		地方債	85,400	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	12,428	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せ、神立駅から国道6号までの区間を、本市とかすみがうら市が整備することにより、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築します。

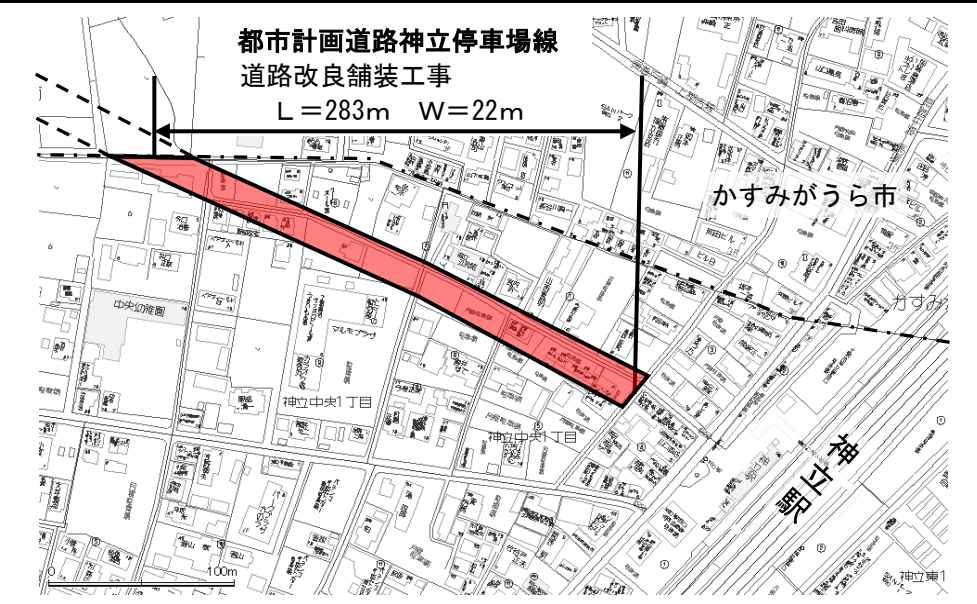
事業の概要

【これまでの経緯】
平成30年度は、用地買収、物件補償、道路改良工事、流末排水路整備工事を実施しました。

【今年度事業内容】
平成31年度は、道路改良舗装工事を行います。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良舗装工事等	67,900
補償補填及び賠償金	用地買収(先行取得分)	62,870
委託料	交通量調査、復元測量	2,600
需用費等	消耗品等	233
計		133,603



神立停車場線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

交通アクセスの向上により、市北部地域の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境が創出されます。また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成が図られます。

田村沖宿線延伸道路整備事業

(継続)

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		44,873		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	21,400	事業期間	平成24年度～平成31年度
		地方債	18,500	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
	一般財源	4,973	施策の内容	2 都市計画道路等の整備	
		全体事業費	1,642,594		

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校へ通学する児童・生徒の通学路の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成30年度は、交差点改良工事・区画線設置工事を実施し、I期事業区間L=2,000mのうち1,900mまでを供用しております。

【今年度事業内容】

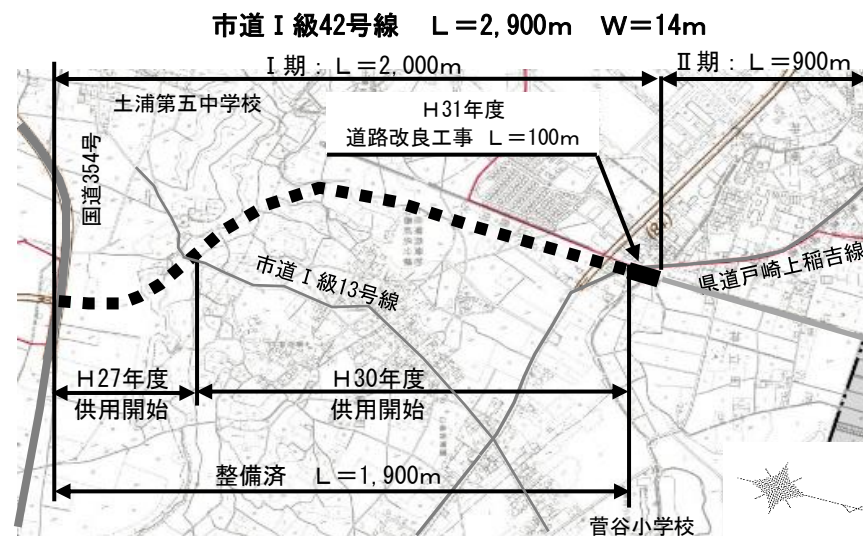
平成31年度は、道路改良工事及び復元測量委託等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	41,206
委託料	復元測量等	2,530
補償補填及び賠償金	電柱移設費	880
需用費	技術指針関連図書等	257
計		44,873

【今後の予定】

平成31年度中に、I期事業残区間(L=100m)の事業完成を目指します。



田村沖宿線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院へのアクセス向上が図られます。また、歩行者・自転車の安全な通行帯が確保されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

荒川沖木田余線（I期）整備事業

（継続）

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		219,717		（単位：千円）	
財源内訳	特定財源	国県支出金	108,000	事業期間	平成26年度～平成34年度
		地方債	99,000	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
	一般財源		12,717	施策の内容	2 都市計画道路等の整備
		全体事業費	1,316,000		

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成30年度は、道路改良工事及び用地買収等を実施しました。

【今年度事業内容】

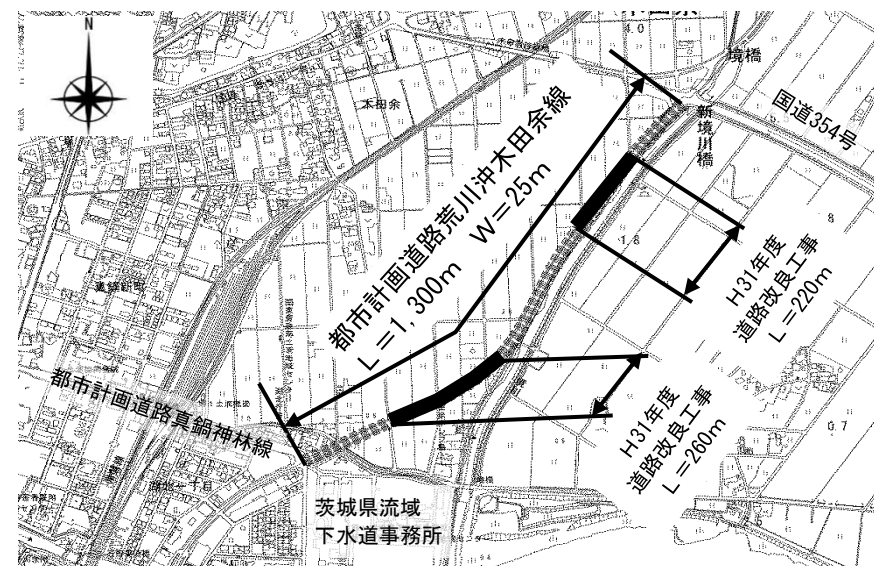
平成31年度は、道路改良工事等を施工します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	202,070
補償補填及び賠償金	物件補償	16,000
需用費等	消耗品、報酬	1,647
計		219,717

【今後の予定】

平成34年度末までの事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（I期）整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

まちなか定住促進支援事業

(継続)

担当 都市産業部
都市計画課

予算額		20,868		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	10,434	事業期間	平成26年度～平成35年度	全体事業費	162,515
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成		
	一般財源	10,434	施策の内容	2 まちなか居住の促進			

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を活用し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

第一期中心市街地活性化基本計画に基づき、平成26～30年度の期間に家賃補助126件、建替え・購入補助75件を実施しました。(平成30年度は平成31年1月末までの実績)

年度	家賃補助	建替え・購入補助
平成26年度	2件	8件
平成27年度	20件	20件
平成28年度	35件	36件
平成29年度	37件	5件
平成30年度	32件	6件
合計	126件	75件

【今年度事業内容】

平成31年度を初年度とする第二期中心市街地活性化基本計画に基づき、以下の事業を行います。

- ①まちなか賃貸住宅家賃補助 9,368千円 市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える世帯のうち、新婚又は子育て世帯に対して、家賃の1/2(上限2万円)を補助します。
- ②まちなか住宅購入補助 10,000千円 市外から中心市街地に住宅を新築又は購入し、住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、住宅購入借入金の3%(上限50万円)を補助します。
- ③まちなか住宅転用補助 1,500千円 中心市街地の空きビル等を住宅へ用途変更する者に対して、その転用工事費の1/2(上限50万円)を補助します。

【今後の予定】

第二期中心市街地活性化基本計画の計画期間の平成35年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

期待される効果・成果目標等

中心市街地への居住の集約を図り、中心市街地における活力とにぎわいのあるまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業

(新規)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		10,000				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	10,000
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成		
	一般財源	10,000	施策の内容	3 土浦駅東口地区のまちづくり			

事業の目的

土浦港周辺広域交流拠点基本計画に基づき、土浦港に隣接する川口二丁目の市有地に官民連携による観光拠点を整備することにより、中心市街地の活性化及び賑わいを創出します。

事業の概要

【今年度事業内容】

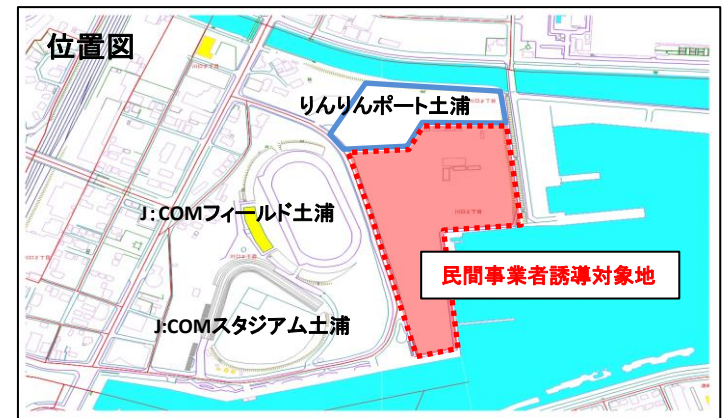
平成30年度に整備した「りんりんポート土浦」南側の暫定的に広場として活用している箇所などを対象に、民間事業者の創意工夫を生かした誘客・集客施設などの整備を促すため、様々な手法を検討し、誘致を進めていきます。

◎予算内容

民間事業者誘導支援委託料 10,000千円

【今後の予定】

民間活力を導入して多くの方々が訪れる魅力ある空間を整備し、水辺の賑わいづくりを進めていきます。



期待される効果・成果目標等

市有地の有効活用について民間活力を導入することにより、効果的な中心市街地の活性化及び賑わいの創出に繋がります。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

消防団車庫整備事業

(継続)

担当	消防本部 総務課
----	-------------

予算額		24,222				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	24,222
		地方債	22,800	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急体制の充実		
		一般財源	1,422	施策の内容	1 消防力の充実		

事業の目的

老朽化した消防団車庫の耐震性・耐久性を確保するため、計画的に更新整備を実施します。

事業の概要

【今年度事業内容】

昭和57年建築で老朽化が進む、第15分団（神立中央一丁目）の既存の車庫を解体し、新たに建物を整備します。

◎ 新築建物の概要

土地	予定地	神立中央一丁目4011番649外1筆
	地目	宅地
	地籍	506.82㎡
家屋	構造等	軽量鉄骨造平屋建、車庫・詰所等
	床面積	46㎡程度

◎ 事業費 (単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	建築確認・完了検査手数料等	42
委託料	用地測量、地質調査	880
工事請負費	新築工事、解体工事	23,300
	計	24,222



平成29年度建築 消防団車庫（第33分団 上坂田）

期待される効果・成果目標等

市民の生命、身体及び財産を守る消防団の防災活動拠点である車庫を整備し、消防体制の充実・強化を図ることにより、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

就学前教育推進事業 (新規)

担当 教育委員会
文化生涯学習課

予算額		3,814		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	3,814
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	3,814	施策の内容	1 幼児期の教育の推進			

事業の目的

幼児期から児童期にかけては、育ちと学びの基礎力を培う大切な時期であり、互いの教育を見通し、連続性・一貫性のある教育を行う必要があるため、「就学前教育・家庭教育」を推進し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ります。

事業の概要

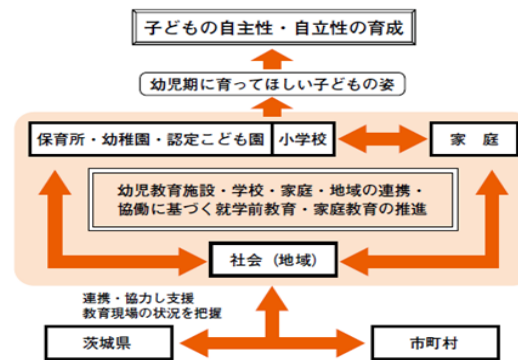
【今年度事業内容】

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、新たな就学前教育・家庭教育推進体制を整備し、保育所（園）・幼稚園・認定こども園・小学校と家庭や地域、関係機関等が連携し、就学前教育と家庭教育を推進するために必要な基盤の構築を行います。

◎予算内容 ・報酬 3,814千円

【今後の予定】

茨城県就学前教育・家庭教育アクションプランにおいて、社会全体で就学前教育と家庭教育に取り組むことを目指し、平成32年度までに全市町村への「保幼小連携協議会」の設置を目標としているため、県の施策と連動し「土浦市保幼小連携協議会」（仮称）を設置します。



※茨城県就学前教育・家庭教育推進ビジョンより抜粋

期待される効果・成果目標等

保育所（園）・幼稚園・認定こども園と小学校との連携や地域等との相互交流を図り、集団生活に必要な基本的な生活習慣や態度及び社会性を養う教育を行うことにより、子どもたちの自主性・自立性、規範意識などを育むことができます。

また、保護者への啓発や学ぶ機会の提供など家庭教育に関する支援を推進することにより、家庭における教育力の向上をもたらします。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

教育相談室移転事業

(新規)

担当	教育委員会 指導課
----	--------------

予算額		32,060				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	32,060
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
		一般財源	32,060	施策の内容	3 教育内容の充実		

事業の目的

教育相談室は現在、真鍋事務庁舎旧館で運営していますが、建物の老朽化が著しく、新耐震設計基準施行以前の建物であることから、施設の移転を実施し、安心して通室できる教育支援環境を整えます。

事業の概要

【今年度事業内容】

平成31年度に旧穴塚小学校の改修工事を実施し、教育相談室を同校校舎へ移転させます。

現行：真鍋事務庁舎旧館2階（昭和44年竣工）

移転先：旧穴塚小学校（昭和51年竣工，新館昭和62年竣工）

◎改修・移転経費

- ・改修工事（教育相談室部分） 22,000千円
 - ・駐車場整備工事（共用） 4,900千円
 - ・移転費用（引越・整備） 2,667千円
- 計 29,567千円

◎管理経費（9月移転を想定） 2,493千円

合計 32,060千円

【今後の予定】

平成31年5月～ 旧穴塚小学校改修工事

平成31年9月 供用開始予定



現在の教育相談室の様子（廊下，学習室）

期待される効果・成果目標等

新しい教育相談室を整備することで、安心して通室できる環境が整います。また、移転に伴い十分な面積を確保できることから、相談室や学習室を増室することができ、増加している不登校児童生徒へのよりきめ細やかな支援が可能となります。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

小学校適正配置推進事業 (継続)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

予算額		1,203				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成29年度～平成31年度	全体事業費	1,593
		地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
		一般財源	1,203	施策の内容	10 小学校の適正配置	

事業の目的

平成24年度に策定した「土浦市立小学校適正配置実施計画」に基づき、適正規模に満たない小学校が複数ある上大津地区について、子どもたちのより良い教育環境の整備を目指すため、土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会を設置し、具体的な検討を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

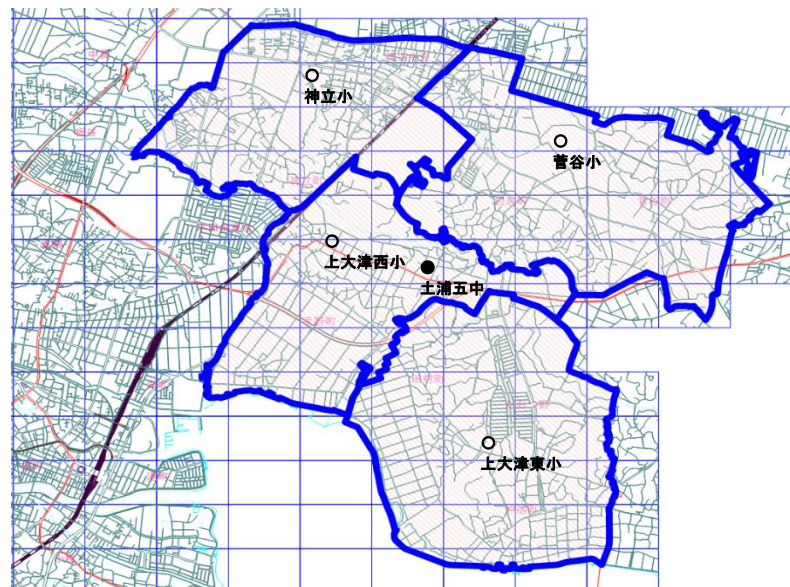
平成29年度～平成30年度

- ◎上大津地区小学校適正配置検討委員会の設置及び開催
- ◎上大津地区小学校の保護者及び地域住民説明会の開催
- ◎上大津地区小学校適正配置実施計画の中間提言（平成30年11月）

【今年度事業内容】

- ◎上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催
- ◎上大津地区小学校の保護者及び地域住民説明会の開催
- ◎上大津地区小学校適正配置実施計画の最終提言（6月）
- ◎「上大津地区小学校適正配置実施計画」の策定
- ◎上大津西小学校と菅谷小学校の暫定的な統合に向けた準備

予算内容	・ 適正配置検討委員会報酬等	173千円
	・ 上大津西小学校閉校関係経費	1,030千円



上大津地区における通学区域の状況

期待される効果・成果目標等

集団の中での社会性の育成など、子どもたちにとってより良い教育環境の充実が図られます。

款	教育費	項	小学校費／中学校費
---	-----	---	-----------

小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業

(継続)

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

予算額		144,000		(単位：千円)	
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金	46,528	事業期間	平成26年度～平成36年度
		地方債	77,600	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源	19,872	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実	
		全体事業費	2,275,002		

事業の目的

東日本大震災の被害状況を受けて平成23年度に改正された文部科学省の施設整備基本計画方針に基づき、校舎及び屋内運動場の耐震化を図っていますが、構造体の耐震化が平成27年度に完了したことから、これに引き続き、校舎等のガラス飛散防止、設備類の固定化等、非構造部材の耐震化を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

緊急時の避難場所となる屋内運動場を優先して年次計画で実施し、平成29年度で屋内運動場の非構造部材の耐震化が完了しました。平成30年度は、下高津小学校、荒川沖小学校校舎非構造部材の耐震化工事のための実施設計を行いました。

【今年度事業内容】

平成31年度は、下高津小学校、荒川沖小学校校舎非構造部材の耐震化工事(窓ガラスの飛散防止、設備機器の落下防止等)を行います。

【今後の予定】

残りの小中学校校舎についても、年次計画で非構造部材の耐震化工事を実施します。



普通教室



理科室

期待される効果・成果目標等

校舎の非構造部材の耐震化を推進することで、児童・生徒の安心・安全な学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

特別展・企画展事業(上高津貝塚ふるさと歴史の広場) (継続)

担当	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
----	----------------

予算額		977				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	977
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
	一般財源	977	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実			

事業の目的

本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化財保護の啓蒙を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成7年度の開館以降、考古資料から本市の歴史を探る特別展や企画展を開催しています。

【今年度事業内容】

第22回企画展「(仮)常陸の玉作り 重要文化財武者塚古墳出土品同時公開」

会期：平成31年10月中旬～平成31年12月上旬(予定)

内容：本市の遺跡から、古墳時代初めの4世紀にメノウ製勾玉を製作した工房跡が発見されています。これは、日本最古の可能性のある重要な資料です。展示では玉作り資料や、武者塚古墳など古墳に納められた玉類を紹介します。併せて、重要文化財の武者塚古墳出土品も公開します。



烏山遺跡 玉作資料



武者塚古墳出土玉類

【今後の予定】

引き続き博物館と協力しながら開催し、調査研究成果の公開に努めます。

期待される効果・成果目標等

市民の埋蔵文化財への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。

入館者目標値：57,800人/年(博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場合計)

市民会館耐震化及び大規模改造事業

(継続)

担当	教育委員会 文化生涯学習課
----	------------------

予算額		2,059,253		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	84,502	事業期間	平成29年度～平成32年度
		地方債	1,517,600	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり
	一般財源		457,151	施策の内容	2 文化施設等の整備と活用
		全体事業費			2,184,949

事業の目的

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、老朽箇所等の大規模な改造を行い、施設を安心・安全で快適に利用できるように整備します。また、併せて駐車場の拡張工事を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年度に設計業務を行い、平成31年1月から工事に着手しています。

【今年度事業内容】

平成31年度は、耐震補強工事、大規模改造工事、駐車場拡張工事を施工します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	耐震補強及び大規模改造、駐車場拡張	2,030,625
委託料	工事監理費、備品等移動費用等	28,128
その他	製品検査旅費、リニューアル関連費用	500
計		2,059,253

【今後の予定】

平成32年5月にリニューアルオープンを予定しています。

【施設の概要】

- ・構造 鉄筋コンクリート造（地上3階）
- ・延床面積 5,657㎡（機械室棟を含む）
- ・竣工 昭和44年2月

【工事内容】

- ・耐震補強工事
- ・天井脱落防止対策
- ・舞台機構改修
- ・トイレ改修
- ・客席交換
- ・エレベーター設置
- ・駐車場拡張工事等



土浦市民会館（改修イメージ）

期待される効果・成果目標等

文化・芸術活動の拠点施設として、市民等が安心して利用できるよう耐震補強工事を実施することで、施設の安全性が確保されるとともに、老朽箇所等の改修を行うことで、施設の高機能化及び延命化が図られます。

また、駐車場を拡張することにより、大規模イベント時の駐車場不足の解消が期待できます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

重要資料公開推進事業(博物館)

(継続)

担当 教育委員会
博物館

予算額		6,958		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	327	事業期間	平成31年度	全体事業費	6,958
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
	一般財源	6,631	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実			

事業の目的

特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和63年度の開館以降、特別展や企画展などを開催して、本市の特徴を紹介しています。

【今年度事業内容】

◎第40回特別展「町の記憶―空都土浦とその時代―」平成31年3月16日(土)～平成31年5月6日(月)

本市の近代の歴史を、航空隊関連資料や太平洋戦争中の資料、市民から寄せられた体験文などを通して紹介します。

◎第41回特別展「土浦城―継承の軌跡―」平成32年3月14日(土)～平成32年5月6日(水)

続日本100名城選定記念・市制施行80周年記念とし、本市のシンボル土浦城の歩んできた軌跡を絵図など多様な資料で紹介します。

【今後の予定】

土浦市民の歴史や文化財に対する興味を高めます。上高津貝塚ふるさと歴史の広場と協力し、市外・県外からの集客も見込める企画を継続します。



絵葉書「水郷の土浦」封筒

期待される効果・成果目標等

市内の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。□

入館者目標値：57,800人/年(博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場合計)

美術品公開推進事業／新図書館管理運営事業

(継続)

担当

教育委員会
文化生涯学習課、図書館

予算額

1,940

(単位：千円)

財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	1,940
		地方債			施策の大綱		2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他	10		施策名		2 自己実現を図り、充実した人生を目指す生涯学習の推進, 4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり
	一般財源	1,930	施策の内容	5 図書館サービスの充実, 1 文化芸術活動の推進			

事業の目的

複合施設「アルカス土浦」に併設する土浦市立図書館・土浦市民ギャラリーでは、両施設が連携した魅力ある企画展やイベントを開催し、中心市街地のにぎわいの創出に努めます。また、両施設の特性を活かして、図書館では生涯学習推進に係る各種講座を、市民ギャラリーでは企画展の開催、収蔵美術品の公開を推進し、市民にとっての生涯学習の支援と芸術文化の振興を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年度にオープンした市立図書館・市民ギャラリーにおいて、ギャラリーの企画展に関連した図書を図書館で展示するなど、連携しながら両施設の運営を図った結果、開館1年で約65万人の利用がありました。

【今年度事業内容】

◎「図書館・市民ギャラリー連携企画展」 平成31年3月21日（木）～平成31年5月6日（月）

平成30年度からの継続事業として、「絵本」をテーマとした展覧会、講演会などを開催します。

◎図書館では、生涯学習の推進に資する各種講座等を開催します。

◎市民ギャラリーでは、市民等への貸出しを行なうとともに、郷土ゆかりの作家を紹介する企画展・収蔵品展等を開催します。

【今後の予定】

引き続き図書館、市民ギャラリーの連携による事業を計画し、生涯学習活動のより一層の充実を図るとともに、市収蔵美術品の新規収集や若手作家作品展の開催等により、市民が芸術文化に親しむ機会の創出に努めます。



アルカス土浦

期待される効果・成果目標等

生涯学習及び文化施設に相応しい事業を展開し、市民の交流拠点としての魅力を高めることで、中心市街地の活性化に寄与します。

利用者数目標値 図書館：400,000人／年 市民ギャラリー：32,000人／年

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

川口運動公園野球場整備事業

(継続)

担当 教育委員会
スポーツ振興課

予算額		123,000		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成31年度	全体事業費	123,000
		地方債	92,200	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
		一般財源	30,800	施策の内容	2 スポーツ・レクリエーション施設の適正管理と利用促進		

事業の目的

J：COMスタジアム土浦（川口運動公園野球場）スタンドに防球ネットを設置し、場外へのファウルボールの飛び出しを減らすことにより、歩行者等の安全確保に努めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

ファウルボールがスタンドを越え、場外に飛び出す場合があり、敷地外の駐車車両を直撃する事故が発生するなど、歩行者等の安全の確保の必要性が生じました。

【今年度事業内容】

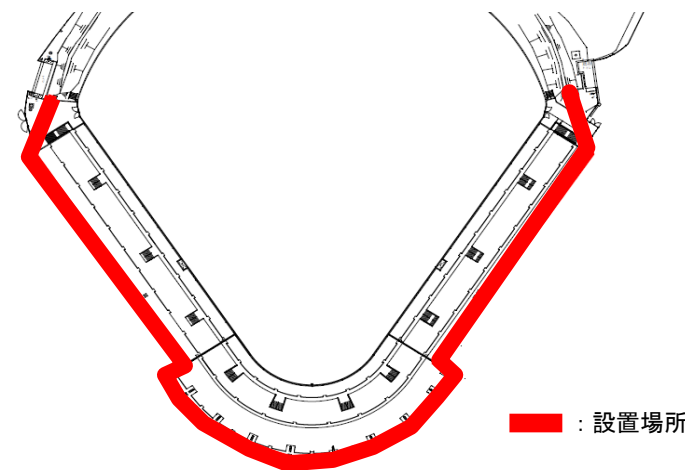
◎設置する防球ネットの概要

(単位：m)

設置場所	延長	地上高	
		施工前	施工後
メインスタンド	131.79	15.38	19.95
1・3塁側スタンド	162.30	12.02	
ライト・レフト側のポール際	40.00	—	14.85

◎事業費 123,000千円

◎工事時期 12月以降のオフシーズンに設置工事を実施予定



防球ネット設置位置図

■：設置場所

期待される効果・成果目標等

場外へのファウルボールを減らすことにより、場外の歩行者等の安全確保が図られるとともに、球場利用者がより安心して利用できる環境が整います。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

茨城国体開催事業

(継続)

担当	教育委員会 国体推進課
----	----------------

予算額		244,969		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	95,833	事業期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	334,030
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
		一般財源	149,136	施策の内容	4 生涯スポーツの普及・振興の推進		

事業の目的

本年度開催する第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）では、本市で実施する4競技について万全な準備のもとで円滑な運営を図ります。「2019茨城国体土浦市実行委員会」においては、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って大会の開催ができるよう取り組みます。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・茨城国体開催に向けて、本市実行委員会を組織し、競技会の運営に必要な計画の策定や要項等の整備を行いました。
- ・平成30年度は、県や競技団体と協力し、競技力運営向上を目的とした競技別リハーサル大会を開催しました。

【今年度事業内容】

- ・第74回国民体育大会本市開催競技会の実施
- ・「2019茨城国体土浦市実行委員会」の運営
(負担金：244,969千円)
- ・花いっぱい運動事業
(小中学校、町内会の協力による花の育成及び各競技会場等への飾花)
- ・炬火（採火・集火式）イベントの開催等

[第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）本市開催競技日程]

競技	(種目)	種別	参加都道府県	日程	会場
水泳	(水球)	少年男子	16	9.13(金), 9.15(日)～16(月)	県立土浦第二高等学校プール
		女子	12	9.14(土)～16(月)	
軟式野球		成年男子	32	10.4(金)～5(土)	J:COMスタジアム土浦
相撲		成年男子	47	9.30(月)～10.1(火)	霞ヶ浦文化体育会館
		少年男子	47	9.29(日)～30(月)	
高校野球	(軟式)		10	9.29(日)～10.2(水)	J:COMスタジアム土浦



相撲競技リハーサル大会風景

期待される効果・成果目標等

市民のスポーツへの関心が高まり、更なるスポーツ活動の普及・発展が図られるとともに、交流人口の増加による、まちの活性化に寄与します。また、歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、本市ならではの個性と魅力の全国へのアピールとなります。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

学校給食センター再整備事業 (継続)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

予算額		2,008,423	(単位：千円)
財源内訳	特定財源		
	国県支出金		
	地方債	1,499,500	
	その他		
	一般財源	508,923	
		事業期間	平成24年度～平成32年度
		全体事業費	3,507,591
		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
		施策の内容	8 学校給食の充実

事業の目的

第一学校給食センター及び第二学校給食センターは、両施設ともに老朽化が著しく、また、耐震基準を満たしていないことなどから、これらを統合して旧新治庁舎跡地に1センター方式として再整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・平成24～25年度にかけて再整備基本構想を策定し、平成25年度に事業手法検討調査を実施しました。
- ・平成28年度に旧新治庁舎跡地に建設することを決定し、平成28～29年度に基本・実施設計を実施しました。
- ・平成30年度に建築工事の契約締結（9月）を行い、工事を着工（10月）しました。

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	工事費（継続費）	1,933,354
	敷地外（新治トレーニングセンター）外構工事	47,000
委託料	現センター土地測量委託料、アスベスト調査委託料	5,009
	工事監理業務委託料（継続費）	19,168
その他	学校給食管理システム移行データ作成委託料	330
	学校給食管理システム導入維持管理料、旅費等	3,562
	厨房機器、厨房・家具備品購入（債務負担行為）	0
計		2,008,423



(仮称) 土浦市立学校給食センターイメージ図

【今後の予定】

- ・平成32年5月まで新学校給食センター建設工事、平成32年9月に供用開始（予定）

期待される効果・成果目標等

安心・安全でおいしい学校給食を継続して提供できるとともに、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応が可能となります。また、地元で生産された安全で新鮮な食材を積極的に取り入れることで、地産地消や食育の推進に寄与します。

